

2017年 ツバメ集団ねぐらの調査結果とねぐらの移動について

今年はツバメのねぐらの観察を継続的に実施することとした。4月15日を第1回調査とし、基本的には2週間に1度とし、有志でさらに回数を増やし観察した。

1)ねぐら入り調査結果

第1回調査の4月15日にはひょうたん池へのねぐら入りはまだ確認できなかった。5月6日に300羽ぐらいが昨年と同じひょうたん池周辺にねぐら入りしたのが確認でき、その数も少しずつ増えていった。6月17日はヨシ原の管理を行い引き続き調査をおこなったが、ツバメがひょうたん池に集まってくるも、これまでの場所にねぐら入りせず、少し下流側に移動したようで、ツバメの鳴き声がするもののねぐら入りした正確な場所が見つけれなかった。

7月8日の調査で300mほど上流側の多摩大橋すぐ下流のヨシ原にねぐらが移動し、1万羽ぐらいがねぐら入りしたのが確認できた。ねぐらも定着し、ツバメの数も増えていった。規模的には昨年より大きいと判断する。8月12日に多摩大橋の上を通過したツバメをカウントすると、11,782羽であったことから、昨年の調査を参考にして、ねぐら入り規模は20,000羽と推定した。

その後、8月24日には多くのツバメが旅立ち、多摩大橋すぐ下流のねぐらはなくなった。残ったツバメはひょうたん池にねぐら入りするようになった。その後ねぐら入りするツバメの数は急激に減り、9月24日にはねぐらは完全に消滅したことを確認した。9月24日をもって半年にわたるツバメねぐら調査を終了した。(調査担当責任者;若狭誠、福本健)

調査日	天候	ねぐら入り羽数(推定)	ねぐら入りした場所	ねぐら入り終了時刻	状況
4月15日	晴れ	確認できず	確認できず	確認できず	多摩大橋アーチ付近に50羽ぐらい飛ぶが、ひょうたん池への飛来は確認できなかった。
5月6日	晴れ	約300羽	ひょうたん池	18時55分	18時40分ごろから次第にひょうたん池周辺に集まってきた。集団がさらに膨らみ大きな群れとなり、18時55分ごろ集団でひょうたん池の枯れたヨシ原に止まるのが確認できた。
5月22日	晴れ	500羽	ひょうたん池	19時8分	19時3分 上空に集団飛ぶ。その後水面を乱舞。順次ねぐら入り。
6月17日	晴れ	確認できず	ひょうたん池下流側	確認できず	17時ごろからヨシ原管理を行う。 19時10分頃いつもの場所に止まったが、すぐに飛び立った。19時20分頃上空に大きな集団を形成し、ねぐら入りを始めた。池の下流側に下りたようで、鳴き声がするが場所が特定できない。
6月25日	晴れ	確認できず	ひょうたん池下流側	確認できず	ひょうたん池に隣接する下流側のヨシ原をツバメが飛び、19時10分ごろねぐら入りを始めたようで、周辺からツバメの鳴き声が騒がしく聞こえてきたが、草が深く残念ながらツバメのねぐら入り姿を見つけられなかった。
7月8日	晴れ	約10,000羽	多摩大橋すぐ下流	19時25分	ひょうたん池近くのねぐら入り場所が明確でないので、ねぐらの場所確認を中心に行った。上流の方でたくさん飛んでいたとの情報をもとに、分担して上流も観察した。19時10分ごろ多摩大橋下流側すぐのヨシ原の上を飛び回り始め、ねぐら入りも観察される。トラック道路のすぐ横のヨシにどンドンねぐら入りし、観察していた場所の数m先にぎっしり止まっているのが見られた。
7月23日	曇り	15,000 ~ 20,000羽	多摩大橋すぐ下流	19時17分	18時45分ごろから多摩大橋下流周辺にツバメが集まりだし、19時10分頃には上空高くに1万羽を越え

					ると思われる大群が飛び回る。次第に多摩大橋下流のヨシ原に止まりだす。
7月28日	曇り	15,000 ~ 20,000 羽	多摩大橋すぐ下流	19時11分	18時15分ツバメ集まりだす。18時52分止まり始める。19時00分道路を通る人に驚いたらしくすべて飛び立つがすぐに止まる。
7月29日	雨	20,000 羽	多摩大橋すぐ下流	18時55分ごろ	18時前から集まり始める。18時25分に止まり始める。何度か再び飛び立つが、だんだん止まる数が増える。雨の日は20分ぐらい行動が早くなる。
8月4日	曇り	20,000 羽	多摩大橋すぐ下流	18時57分	18時25分ごろから集まり始める。18時40分大きな群れ形成。18時45分ねぐらに止まり始める。
8月8日	うす曇り	数千羽か？ 2か所で2万羽？	ひょうたん池(多摩大橋すぐ下流も)	19時00分	18時45分ひょうたん池の上、周辺を低く流れるように飛ぶ。18時55分上空に数千の大群。羽数が増えたので、多摩大橋下流のヨシで入りきらなかったことから、ひょうたん池にもねぐらが形成されたことになる。
8月12日	曇り	20000 羽	多摩大橋すぐ下流及びひょうたん池		参加者8名で多摩大橋上にてねぐら入りのため通過するツバメの数をカウントした。観察時間は18時00分～19時00分で通過総数は11,782羽であった。下流側からのねぐら入り数は昨年のデータ3500羽と同じと想定すると15,282羽となる。この結果から、ねぐら入り総数は最低でも15,000羽以上であることが分かった。ねぐら入り総数はこれまで通り20,000羽とする。
8月18日	曇り	15000 ~ 20000 羽	多摩大橋すぐ下流(ひょうたん池も)	18時50分	18時15分飛ぶのは蝙蝠のみ 18時17分ぼつぼつ来出すだす 18時30分上流より次々と飛来。低空を飛ぶ 18時40分ヨシの上を飛び回り、止まりだす。
8月24日	晴れ	0羽 (ひょうたん池にはねぐら入り)	多摩大橋すぐ下流には入らず(ひょうたん池に入る)		18時8分パラパラ飛来するが続かず 18時25分群れが連続的に来るが続かず。 18時27分ひょうたん池上空に大きな群れ 18時40分多摩大橋下流の上空には群れがなく、結局ねぐら入りは確認できなかった。
8月25日	曇り	3000 ~ 5000 羽	ひょうたん池	18時35分	多摩大橋下流のねぐらはなくなり、3000～5000羽のツバメが18時35分にひょうたん池にねぐら入りした。多くのツバメが旅立ち、残ったツバメはひょうたん池に集約されたことになる。 親鳥はわずかで、大半が幼鳥
9月4日	曇り	2500 羽	ひょうたん池	18時15分	17時52分10羽程度来る 18時2分100羽程度来る 18時6分池のヨシに止まりだす 18時8分1000羽程度の群れが上空に 18時15分ヨシに流れ込む ツバメも少なくなった。正面のヨシ及び下流側のヨシにぎっしり止まっていた。止まっているのは幼鳥ばかりで、親鳥は確認できず。
9月9日	曇り	1500 羽	ひょうたん池	18時16分	17時20分パラパラ飛来 18時5分1000羽くらい集まり、池に流れ込む 18時13分一旦上空に飛び立ち、その後再度池になだれ込む。 正面のヨシにはぎっしりねぐら入りしたが、下流側のヨシにはねぐら入りが確認できなかった。

9月15日	うす曇り	500羽	ひょうたん池	18時0分	17時42分少し集まり始めるが、わずか！ 17時52分500羽が飛来し、上空を巡回 17時55分ヨシに止まり始める 18時0分ねぐら入り ずいぶん少なくなる。正面のヨシにのみねぐら入り。
9月24日	うす曇り	0羽	ひょうたん池	ねぐら入り 無	18時33分に1羽が飛来するも、飛び去る。 その後はツバメの飛来もなく、すべて南の国に旅立ったと考えられ、ねぐらは完全に消滅したと判断した。半年にわたる調査を終了することとした。

2)ねぐらの移動(下記の図参照)

2015年のねぐら①は2015年の途中でひょうたん池周辺の②に移動した。今年も最初は昨年のねぐら②にあったが6月にひょうたん池の下流側③に移動し、さらにひょうたん池周辺から多摩大橋下流④に移動した。これで2年連続してねぐらが途中で移動したことになる。

ねぐら④に移動後はひょうたん池にはねぐら入りしていないことを確認していたが、8月に入ってひょうたん池にもねぐら入りしているのが確認された。ツバメの数が増え、ねぐら④が狭くなったので、ひょうたん池周辺にもねぐら入りするようになったと思われる。

ねぐらが移動する原因がはっきりしないので、来年もねぐらが変わる可能性がある。8月、9月と観察は続けるが、いつまでねぐらが形成されるか、ねぐらが移動しないか、来年は今年のねぐらが使われるか等の調査を続けたい。

- ① 2015年のねぐら
- ② 2016年のねぐら(ひょうたん池周辺)
- ③ 2017年途中で一時的に移動したねぐら(ひょうたん池下流側のねぐら:正確な位置は確認できなかった)
- ④ 2017年の新しい・多摩大橋下流ねぐら(2017年8月からは②にもねぐら入り)

